

作成された地上天気図の解説のみに留まり、本書に類する最新の内容を持つ書籍は非常に少ない。本書巻末の参考文献を見ると、約半数が「航空気象予報作業指針」等、気象庁内部を主対象と考えられる文献類となっており、本書の読者がより深い知識を得ようとしても、これらの一部の文献は容易に入手できないことが予想される。願わくば、本書に引き続きより多くの気象資料に関する書籍が発行されることを期待したい。

最後になるが、下山氏は本書の前書きの中で対象読

者を「基礎的な気象知識はもっているが、これまで天気図に接することが少なかった人たち」と述べられている。私は気象関連業務に携わる者ではないが、下山氏の想定された読者層に当り、今回、書評を書かせていただいた。教科書のみでの独学でしか気象学を学んでいない私は、本書から多くの啓示を受けることが出来た。良書をまとめられた下山氏に感謝したい。

(住友重機械工業㈱鉄鋼・機器事業本部 岡田暢夫)



### 第18回日本自然災害学会学術講演会のご案内

第18回日本自然災害学会学術講演会を下記のように開催いたします。講演者及び参加者を募集しておりますので、多数ご応募下さいませようお願い申し上げます。

#### 記

期 日：1999年10月14日（木）、15日（金） 9～17時

場 所：東北大学工学部青葉記念会館

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉04

TEL：022-217-7993

講演申込：講演申込締切 7月9日（金）

原稿提出締切 8月20日（金）

原稿提出先：

〒980-8579

仙台市青葉区荒巻字青葉06

東北大学大学院工学研究科災害制御研究センター  
内

第18回日本自然災害学会年次学術講演会事務局

源栄正人

TEL：022-217-6169

e-mail：motosaka@struct.archi.tohoku.ac.jp

参加費：3000円（講演要旨代含）

### 第36回自然災害科学総合シンポジウムのご案内

第36回自然災害科学総合シンポジウム（自然災害総合研究班、京都大学防災研究所共催）及びオープンフォーラム「キャサリン台風、アイオン台風から50年—水災害の変遷を考える—」（主催：日本自然災害学会、共催：自然災害総合研究班、東北大学工学部）を開催いたしますので、多数ご参加下さいませようご案

内いたします。

期 日：1999年10月16日（土） 9時～17時

場 所：東北大学工学部青葉記念会館

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉04

TEL：022-217-7993

参加費：無料